

開発・販売・生産を繋いだ統合化システムの開発

—— ブロード・システム・ソリューションズ(株) ——

食品製造業向け生産管理システム「Fress-E」や製品情報や規格書などの管理システム「cBPm」を組み合わせた総合的ソリューションを提供しており、その導入顧客は、惣菜製造業やセントラルキッチン方式を採用している外食産業をはじめ、製パン・製菓、調味料、タレ・スープ、食肉加工、乳製品、漬物、飲料等のメーカーなど幅広い。Fress-Eは50を超える食品メーカー事業所・工場で導入され、cBPmも納入ライセンスベースで500近い実績がある。

2011年は、次期Fress-Eバージョンとして、食品業界での10年の導入実績に基づき、そのソリューションを体系化し、開発・販売・生産を繋いだ統合化システムを発表する。この新商品は『トータルレシビ』をコンセプトとし、開発から生産に至るまでのデータライフサイクルを管理することで、多品種少量生産、製品ライフサイクル短命化へ対応し、食品メーカーの競争力や付加価値を高める全く新しい考え方の生産管理システムである。

これからのシステム作りは、食品メーカー（以下顧客）にどのような提案ができるのか、その質が問われてくるはず。単にシステムの機能を伝えるだけでなく、その商品が顧客の仕事にどう役立つのかを明確に伝える必要がある。つまり、これからは顧客の判断基準も「キノウ重視」から「シゴト重視」へと移り変わってくるとして、従来の機能中心のソフトウェアから

業務中心のソフトウェアとし、マーケットインを目指す商品としている。

その適用範囲は、新商品開発業務、量産準備から販売管理業務、生産管理業務、発注仕入管理業務、在庫管理業務、原価管理業務、品質管理業務とし、効率的でロスの少ない製造の実現をサポートするとともに、将来のビジネスやシステム環境の変化に対応するため、外部システムとの連携も実装しておくことで、よりシステムに柔軟性を持たせている。

最大の特長は、①簡易的な生産管理から本格的生産管理まで、また、システムの部分適用から全体適用まで段階的導入ができる構成とすることで、全ての食品製造業をターゲットにしていること、②生産活動における部門間や業務間における情報の滞留を無くし、かつ仕事の平準化を推進するソリューションを追加したことである。

このITソリューションの狙いは、①滞留なく仕事が進み（仕事のライン化実現）、②チェックや確認が必要なものだけ（仕事残）人が確認する業務運用（ルール）である。そして、③ITで可能な限りルール通りに自動化、④必要なところ（異常なところ）だけチェック（監視）する仕組みである。これは生産管理システムへの「ルールを守る仕組み」の組み込みを意味し、データマネジメントや統制活動にも活用できるものである。

その他、新しく追加するソリューションとしては、複数拠点生産管理の実現、便対応の計画&実施機能、内部統制機能などである。

〒600-8107 京都市下京区五条通室町西入東筋屋町186番地
☎075-352-0066 <http://www.broadss.co.jp/>

シンプル操作で高精度、高信頼性、低価格な水分計を発売

株式会社津島製作所（京都市☎075-823-1110）は、水分計の製品系列にシンプルな操作で高精度な測定が行える、低価格な電磁力平衡式の普及機種（製品名：水分計MOC63u）を新たに市場に投入し、拡販を目指す（発売日：1月17日）。

同社の水分計は、試料をヒーターで乾燥させて水分を蒸発させ、重さの変化を電子天びんを用いて測定することにより、試料中の水分量を測定する乾燥減量法である。

現在、水分計（乾燥減量法）の市場規模は世界で年約130億円、国内で年約10億円と推定されている。今後も年4%の伸びが期待されている。

新製品の特長は、①シンプルな測定手順、②試料皿の大きさはφ95mm、③USBコネクタ標準装備など。

なお、新製品は特殊アルミニウム合金から一体成形して製作した同社独自の質量センサー“ユニブロック”を採用しており、ばねやねじなどを一切使用していない。そのため、水分計で重要視される温度変化による性能変化がない。

